

日吉台の福祉



【日吉台の福祉】で



発行 日吉台学区社会福祉協議会(社協と略す)

ホームページ:<http://orchidturtle6.sakura.ne.jp>

社協の役割とは?……私達の思い!

世界的なコロナ禍の中にあって、残念ながら私達社協の活動も一部を除き自粛せねばならない事態に追い込まれております。

コロナが収まったら貴方は何をやりたいですか?と尋ねたら「旅行に行きたい」「親しい人と会食がしたい」「飲みに行きたい」・・・等々いろいろありそうですね。中には「地域の人達と以前のように交流したい」「ふれあいサロンに参加したい」「子ども食堂に行きたい」と社協活動に思いを寄せて下さる方もおられる事でしょう。

このような息苦しい生活を何とか終わって欲しいと多くの皆さんが待ち望んでおられますが、こんな時こそ私達社協の“出番”のはずなのに、ご存知の事態から活動再開への良い知恵も浮かばず、忸怩たる思いで情勢を見守っているのが現状です。

永年社協の主要イベントであった「福祉まつり」は「敬老のつどい」として再出発を期していましたが、昨年続き今年も開催できず、米寿を迎えられる方々に心ばかりのお祝いの記念品をお贈りするに止まっております。

でもこのままでは決して良いはずはありません。住民の皆さんのアイデアを拝借しながら本来の社協活動を模索して行きたいと強く考えております。

高齢化率が50%を超すと限界集落と言われ、活気のない悲観的な街のイメージですが、私達の日吉台は決してそんな街ではありません。災害は少なく、住民同士のふれあいの強い住みよい街です。さらにいつまでも住み続けたい街、「福祉の街」を目指して社協も貢献したいと考えております。

コロナ禍でも続けてきた活動の報告

1. ささえあいの会の活動 (代表 北村稔)

コロナ禍にあっても住民の皆さんから様々なご依頼が寄せられ、休む事なくサポータの皆さんに協力いただき頑張っています。

最近の活動例を紹介します。6月下旬に90歳の独り暮らしの男性から、庭の草取りと植木の刈込のご依頼がありました。早速下見に行くと庭の芝生に雑草が茂り、植木もかなり伸びていました。当会の決まりに「1日の作業時間は2時間、植木は2m以下」とありますが、1人では無理なので相談の上4人でお引き受けしました。7月の始め梅雨の合間を狙って、草を刈る者、植木の刈込をする者、刈った草や枝を袋詰めする者、と分担して昼休みを挟んで述べ6時間かって完了しました。お陰で庭はすっかり綺麗になり、サポータの頑張りや依頼者の「有難うございました」の感謝の一言で、「ささえあい」の輪が広がります。

2. いきいき体操サロン (代表 広田光俊)

昨年2月発生したコロナウイルス感染症は世界的パンデミックを引き起こし、日本でも16,764名(滋賀県97名)の尊い命が奪われています。(9月11日現在)

地域の行事も社協活動もすべて中止となり、人々の生活も日々のコミュニケーション、好きな買い物や食事にも行けず“巣ごもり状態”となってしまいました。

そうなるとストレスは溜まり、運動不足により体調を崩す方も多く見られる事から、他のサロン活動に先駆け昨年9月から「いきいき体操」を再開しました。

「三密」を避け、スタッフによる徹底した消毒と感染予防5項目を施し、参加者の皆様のご協力も頂き、従来通り月2回の開催にこぎつけたものです。毎回20名程度の方々が参加され、お元気に笑顔で体操を 楽しんでおられます。

しかしながら滋賀県も感染者の急増から緊急事態宣言が発令され、やむを得ず9月は中止としましたが、スタッフ一同早期の復活を願い、皆様との再会を楽しみにしています。

3. ふれあい給食の活動 (部長 川越節子)

日吉台ふれあい給食が始まって30年が過ぎました。私たちふれあい給食部は、27人の部員が9人ずつ3つの班に分かれて、年11回お弁当を作っています。

おひとり暮らしの方に季節を感じてもらえるような、また栄養バランスの取れた彩り豊かなお弁当の献立を考えて、前日に食材の買い物に行きます。

当日は午前9時からお弁当作りが始まります。お弁当作りで一番気をつけていることは、食中毒予防です。1年に一度研修を受け、安心して食べてもらえるように衛生面に気をつけながら作ります。

私たちは食べて頂いた方から「おいしかった」と言ってもらえるようなお弁当作りに励んでいます。

コロナの影響で、去年は作れない月もあり、ご迷惑をおかけしましたが、食べてくださっている方々の笑顔を想像しながらお弁当を作っていきたいと思えます。

私たちと一緒にお弁当を作って下さる方を募集しています。

4. ふれあい農園の活動 (代表 森育寿)

ふれあい農園は、コロナ禍にあっても毎日曜日の農園作業を基本に、3つのふれあいを大切に活動しています。

1つめは、「子供たちとのふれあい」で小学校の各学年毎に野菜づくりをしており、6月は4年生とたまねぎの収穫を行い、この秋には2年生と大根の種まき、1年生とさつまいもの収穫を予定しています。2つめは「地域とのふれあい」で、毎月第2土曜日開催のマルシェに格安、新鮮野菜を出品しています。3つめは「会員相互のふれあい」で、残念ながらコロナ禍のため、これは昨年3月からすべて取りやめです。地域社会に明るさは見えませんが、小さく羽ばたきながら進んでいきたいと思えます。

福祉事業賛助金

暖かいご協力ありがとうございました。

日吉台学区社会福祉協議会会長 呉屋 之保

残暑が厳しい中、新型コロナウイルス感染症が急拡大しておりますが、皆様方には、お元気にてお過ごしのことと存じます。

日頃は、当社協の諸活動に、ご理解とご協力を賜っており、誠にありがとうございます。

この度は、「福祉事業賛助金」として、心温まるご寄付を戴き、心から感謝申し上げる次第でございます。当社協と致しましても、さらに財政基盤を強化し、全員で力を合わせ、手と手をつなぎ「わ」ができる町を目指して、事業を継続させて参りたいと思っております。

これからも、日吉台の福祉のため、お力をお貸し戴きますよう、お願い申し上げます、紙面にて甚だ失礼ではございますが、御礼申し上げます。

「福祉事業賛助金」の募集にご協力いただいた方々

「敬称略」 9月6日現在合計 235名

日吉台 1 丁目

藤田 保雄	井口 照男	村田 俊武	神谷公一郎	小西 彦造	森島 清美
北岸 弘子	西川 幸一	村田 信子	神谷 艶子	萩永 佳子	石本 祖照
小中美智子	北村 稔	中島 洋	東出 恵子	早川 保夫	石本 祖香
中川 隆司	北村千代子	木下 克己	岡崎 一郎	早川 淑子	佐々木貴美子
中川せつ子	遠藤 茂	木下 洋子	岡崎 俊子	藤田 昌史	高田まさ子
大野 美代	六浦 君子	日野 倫将	高橋 博子	藤田 美子	野口美千枝
浅野 弘子	梅田 昌子	高村ひろ子	庄田 達生	市岡 敏	加藤 速雄
山本ひで子	谷口 和夫	高村 克彦	谷口 博	大江不二夫	上川 健
堀田 省三	森田 修	高村 禮子	呉屋 之保	蜂谷 薫	匿名 1名
西田 和子	森田 やよい	正橋 滯	呉屋富美子	蜂谷 綾子	
吉岡 哲男	栗木 永子	中路 幸雄	関 正憲	柳 國子	
森下 妙子	市田 妙子	山田 求	土岡 正行	池端治恵子	計 69 名

日吉台 2 丁目

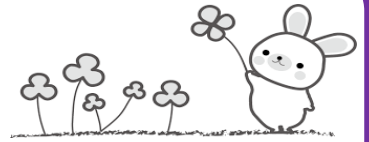
柳瀬 伸之	菅沼 光子	入江ミヤ子	野村哲二郎	大原 政子	大上 裕司
土屋 典文	近原 秀明	水口 一夫	石井 泰雄	荒館 博	大上 美紀
土屋 和子	カフエひよし	角田 豊	石井 裕子	岡本 洋子	堀江 眞造
中谷 猛	藪田 喜山	原口 頌子	原田 和彦	佐藤 彰宏	堀江 敏子
藤井 紳一	西川 松美	田中 昌資	原田 義子	竹内 勝	藤城ツユコ
坂堂 英子	百留 正徳	新司 一允	藤田 嶺子	野本 達雄	岡村美知子
榎 伊都二	川崎 義彦	宮崎 昭治	秋田 敬子	石島 邦男	匿名 1名
榎 文江	川崎 豊子	畠 周治	中尾善三郎	高垣 金吾	
堀 政夫	大杉千津子	岡本 慧子	北浦 正樹	藤田 文江	計 52 名

日吉台 3 丁目

川辺 康子	三森 光貴	山村 豊和	住岡 英毅	岩脇経治郎	左近 邦二
住友 節子	大瀧 岩夫	小井 清光	平子 和義	岩脇 恵子	川越 久聖
谷口 正子	原野 丈樹	日永田伸子	上嶋 徳久	尾藤	川越 節子
橋本 満泰	衛藤 彰男	松村 恒子	岡井信太郎	大丸 一雄	藤井 英一
橋本千鶴子	衛藤 輝子	川崎 隆夫	岡井眞知子	大角 次夫	森 捨信
石川 範子	小島 雄一	清水口 稔	片岡マユミ	西村キミ子	泉尾健太郎
武政 恵美	小島 明美	清水口洋子	三浦 茂	大谷美佐子	泉尾喜美子
林 昌子	佐藤信治郎	奥山 重樹	藤本 修	廣田 光俊	青木 健
岡田 倫子	佐藤 康江	奥山 道子	豊田美智代	田中 龍男	仁木 潤子
西山 勝治	浦 隆志	紺谷 健治	吉居 洋		計 58 名

日吉台 4 丁目

西條 正康	山田与四一	池田 進	渡邊 君子	森 育寿	松井 義昌
西條 幸子	山田 洋子	池田 妙子	徳村 実	青木 一生	上田 鞠子
前田 至章	山本 義明	石津 正明	四ツ橋良明	峰 ミツ	青木 清子
前田 知子	山本早智子	石津 栄子	四ツ橋千鶴子	梅田 邦夫	藤原 一彦
駒井 啓司	藤本 逸郎	澤田 伸三	浅山 鞠子	水谷 邦彦	秋本 重夫
堀 正弘	藤本 光子	竹下 英一	山口 文夫	前嶋 光一	中川 静江
堀 靖子	竹村 幸子	井上てる子	西谷 成司	藤原 昭三	松宮 恭子
阿部 憲雄	中村 益子	高崎 紀子	中西 耕司	手塚 泰彦	塚本三千代
大石 憲次	吉川慎一郎	寺脇千代子	岩上 國夫	橋詰 雄三	匿名 3名
					計 56 名



【今回は、新型コロナ人権相談窓口のご紹介です。】

新型コロナ 人権相談 ほっとライン

新型コロナウイルス感染症により人権侵害を受けた方専用の相談窓口です。
ひとりでなやまないでお電話ください。（相談無料、通話料有料）

077-523-7700（電話・FAX）

【受付日時】 月・火・水・金(祝日・年末年始等を除く)
10時～12時、13時～16時

【相談機関】 公益財団法人滋賀県人権センター
〒520-0801 大津市におの浜四丁目1番14号



※受付後は、相談内容に応じて、法務局等関係機関との連携や弁護士相談を活用し、救済につなげていきます。

※(公財)滋賀県人権センターのホームページ上でメールでの相談も受け付けています。

※弁護士相談は毎月第3木曜日に行っています。(事前予約・面談必要)

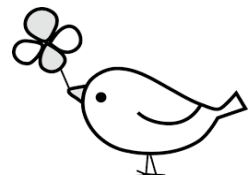
通常の人権相談も行っています。

困ったときは…ひとりでなやまないで電話してね

公益財団法人滋賀県人権センター人権相談室 077-527-3885(電話・FAX)

【相談日】月・火・水・金(祝日・年末年始を除く)10時～12時、13時～16時

※弁護士相談も毎月第3木曜日に行っています。(事前予約・面談必要)



(公財)滋賀県人権センター 新型コロナ人権相談ほっとラインを参照

偏見や差別に当たる事例

子どもに対するいじめ、
保育園への登園拒否



感染した人の住まいや
勤め先の詮索



SNSでの心ない
書き込み



医療従事者の入店拒否や
タクシー乗車拒否



家族に対する
出勤拒否

